

ドイツが生んだ巨匠フォルカー・シュレンドルフ監督が 全世界を震撼させた 『ブリキの太鼓』('79年・カンヌ映画祭グランプリ/アカデミー賞外国語映画賞) から20年余、さらに壮大なスケールで再び贈る、美しく、哀しい、 そして最も残酷な叙情詩、それが『魔王』である。

1943年、スターリングラードの攻防戦もむなしくドイツ軍はソ連軍に敗退。そんな激動の時代に、馬にまたがり3匹のドーベルマンを従えて、 明日のドイツ兵(少年達)を捜し求めるフランス人アベルの姿があった。彼はいつしか"鬼(ogre)"の名で知られるようになる。

数奇な運命にもてあそばれるアベル。そして彼は、自らの行為は子供たちを殺うという信念にとらわれていた。

やがて連合軍が少年たちの前に迫ってきた時、真実に向かって突き進むアベルの姿があった。

不

アル ス に から 画 世 て 技 言 は T 派 王」(みすず書房より シアンの青春』『さよなら子供たち』 わしめるほどの 3 5 9 故 ン・マ て人気 『魔王』は 年(20歳)から チと ルコヴィ ル マリ チの穴』そし 実力とも ね 作品(『鬼火』 ル 監督 等) イ・マ 役となっ ル監督

n が 0 T 議 P 運 7 拒 な 4 た 1 キの 自ら を ま大人に たが、こ 太鼓』は お に の成長を 生き な 0 0 抜 作 醜 って ŧ 旅 品 止 の主 一めた 戦 少 公 う 0

は ,,0 7 子 0,0 0 達が読 G R ŧ む絵本 とは聖と悪を持 E 皆 ٤ 7 3 4 1 を

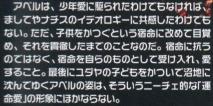
○スタッフ~
監督: フォルカー・シュレンドルフ 原作: ミッシェル・トゥルニエ「魔王」(みすず書房より刊行) 音楽: マイケル・ナイマン 製作総指揮: ジェレミー・トーマス、クロード・ベリ、ソュウ・ライウィン 脚本: ジャン=クロード・カリエール ~キャスト~
: ジョン・マルコヴィッチ カルテンボーン伯爵: アーミン・ミューラー・スタール フォレスター官長: ゴットフリード・ジョンネッタ: マリアンネ・ゼーゲブレヒト ヘルマン・ゲーリング元帥: フォルカー・シュベングラー

アベル: ジョン・マルコヴィッチ



の繋がりを想記させられる





配給: ケイブルホーグ

浅田

アベルは運命と一体化して"ユング心理学でいう ある種の元型"に取り憑かれている。だから、アベル は彼自身というよりも、大きな何かと動いていると 感じている。向こうから運命がやってくると思って いる。重い映画だと思いましたが、僕は好きでした。

"騎馬戦"をしている場面から始まり、最後、アベル がユダヤ人の少年を肩に背負って森のほうに去って いくところで終わるこの映画は「無垢という重荷」を めぐる物語ともいえるかもしれない。成長を拒絶し た少年の目でナチス・ホラーを描いた『ブリキの太鼓』 の監督ならではだろう。

川本 三郎

鏡リュウジ 【1996年/フランス=ドイツ=イギリス合作/カラー&モノクロ/ヴィスタサイズ/118分】1996年ヴェネチア国際映画祭 ユニセフ賞受賞



特別鑑賞券1.300円(税込)

-般1,800円/大高1,500円/中小学生・シニア1,000円(税込)



ミッシェル・トゥルニエの本を持って来たら 一般: 1,300円でご入場頂けます。